

震災後のエネルギー分散と 県民が主役のバイオマスの利活用

千葉県バイオマス普及啓発講演会の開催のお知らせ

木は熱エネルギー資源として一般的に用いられることは少なくなりましたが、扱いやすく、今最も注目されている「バイオマス資源」です。

大昔から有効活用されていた、この古くて新しいエネルギー資源の有効な利活用について皆様方と一緒に考える機会を設けます。



1 日時：平成24年3月14日(水) 13:00開場 13:30開演(展示は12:30から)

2 場所：千葉市文化センター3Fアートホール
(千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館)

3 講演内容：講師紹介は裏面を参照ください

1. 私たちにできる資源循環～CO2排出削減に向けた取り組み～

＜講師：生活協同組合ちばコープ 理事 鈴木 素代 氏＞

生活協同組合ちばコープの環境保全の取り組みと、組合員とともに進める環境保全活動について事例紹介を行います。

2. 地域で取り組む資源循環Ⅰ～市民が担い手となる木質バイオマス利用事例～

＜講師：(株)森のエネルギー研究所 バイオマスタウンアドバイザー 大野 航輔 氏＞

国内には市民が自ら森林を整備し、自ら木質バイオマス利用を行うことで、森林整備、林業活性化、エネルギー自給を進めている事例があります。木質バイオマスと利用事例の紹介を行います。

3. 地域で取り組む資源循環Ⅱ～震災後のエネルギー分散と市民活動への提案～

＜講師：NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク 理事長 泊みゆき 氏＞

東日本大震災は、近代的なインフラのもろさも明らかにしました。そこで、市民がエネルギーを自給する方法について、費用や状況ごとに具体策を提案します。

4 定員・参加費：490名(先着順。定員になり次第締め切ります)、参加費は無料です

5 申込方法：パンフレット裏面の申込用紙、または、葉書、ファクシミリ、電子メールのいずれかの方法により、**3月9日(金)まで**に氏名・電話番号・所属※・ご職業※・住所※・メールアドレス※を明記の上お申込みください。(※印は任意です。氏名・電話番号は定員を超えた場合にご連絡しますので、必ずご記入ください。なお、ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、催し物のご案内やアンケート以外の目的で使用することはありません。)

6 その他

当日は12時半から3Fホールのロビーで、パネルやバイオマス製品の展示も行います。担当者による説明も行いますので、ぜひご覧ください。

7 問い合わせ先：千葉県環境生活部 資源循環推進課 バイオマスプロジェクトチーム

及び申込先 住所：260-8667 千葉市中央区市場町1-1

電話：043-223-4134 FAX：043-221-3970

E-mail：e-biomass@mz.pref.chiba.lg.jp

主催：千葉県 協力：生活協同組合ちばコープ

県庁駐車場はご利用になれません。また、会場駐車場は有料です。

なお、当日は混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください

講師紹介

[震災後のエネルギー分散と県民が主役のバイオマスの利活用]

鈴木 素代 (すずき もとよ) 氏

現生活協同組合ちばコープ理事

◎1999年から2005年、生活協同組合ちばコープの地域サポーターを務め、2006年から現職。環境問題関係理事として、リサイクルやレジエコ等、ちばコープの環境保全活動に中心的な役割を担っています。

大野 航輔 (おおの こうすけ) 氏

現(株)森のエネルギー研究所コーディネーター、
(社)日本有機資源協会認定バイオマスタウンアドバイザー

◎早稲田大学教育学部卒業後、立教大学大学院比較文明学科に進学、2005年2005年3月修了後2005年9月 (株)森のエネルギー研究所入社 現在に至る
登山好きで、高校時代は山岳部、大学時代は探検部に所属。地域の自立に向けて、木質バイオマスエネルギーと林業を切り口に活動。長野県朝日村、新潟県佐渡市、群馬県太田市を初めとする多数の地方自治体における新エネルギービジョン策定調査に携わるとともに、木質バイオマスの安定供給協定業務や地域づくりにおける新たな施業システムの提案等の経験豊富。



泊 みゆき (とまり みゆき) 氏

現NPOバイオマス産業社会ネットワーク(BIN)理事長。経済産業省バイオ燃料
持続可能性研究会委員、総務省バイオマス政策評価委員会委員他。

◎日本大学大学院国際関係研究科修了

◎(株)富士総合研究所(現みずほ総合研究所)で10年以上、環境問題、社会問題の
リサーチに携わる(2001年に退職)。

◎1999年、バイオマス資源の持続可能な利用促進を目的とする「バイオマス産業社会ネットワーク」を設立し共同代表に就任。2004年、NPO法人取得に伴い、理事長に就任。

◎主な著書として、『地域のかで自然エネルギー!』(共著、岩波ブックレット)、『草と木のバイオマス』(共著、朝日新聞社)、『バイオマス産業社会』、『アマゾンの畑で採れるメルセデス・ベンツ』(共著、築地書館)他多数。



FAX申込用紙 (切り取らずこのまま送信してください) 送信先:043-221-3970

資源循環推進課バイオマスプロジェクトチーム 行き

ご氏名(必須)	所属(※)
ご住所(※)	
お電話番号(必須)	
E-mail(※)	ご職業(※)

※印は任意です。ご職業は、1:会社員、2:自営業、3:農林・漁業、4:教員、5:研究機関、6:パート、7:主婦、8:大学生、9:高校生、10:その他 の番号記入で結構です